

都市政策研究所
ニュース

THE NEWSLETTER OF INSTITUTE FOR URBAN AND REGIONAL POLICY STUDIES

「北九州まなびとESDステーション」への期待

2013年3月17日、北九州市内10大学（北九州市立大学、九州栄養福祉大学、九州共立大学、九州工業大学、九州国際大学、九州歯科大学、九州女子大学、産業医科大学、西南女学院大学、西日本工業大学）による「北九州まなびとESDステーション」が小倉中心市街地にオープンしました。この施設は文部科学省の「大学間連携共同教育推進事業」の採択を受けて開設されたもので、実践的人材育成を大学間の連携によって実施する拠点となるものです。

ESD（Education for Sustainable Development）とは「持続可能な開発のための教育」と訳されます。私たち一人ひとりが、世界の人びとや将来世代、また環境との関係性の中で生きていることを認識し、よりよい社会づくりに参画するための力を育む教育のことで、環境、経済、社会、文化などの様々な分野を包括的に考慮しながら、持続可能な未来づくりのための担い手を育てていくことです。

北九州市でも、ESD活動（ESDという認識はなくてもその理念に即した活動：広義の環境教育活動）が以前より市民団体を中心に幅広く実施されてきました。そのネットワークを核として市民団体、企業、大学、行政などで構成される「北九州ESD協議会」が2006年に発足し、同協議会を中心に活動が展開されています。

ESDは国連が世界規模で展開するグローバルなアジェンダですが、それを実現化、具現化していくのは末端にある地域レベルであり、その担い手は市民、企業、団体、行政など、地域に関係するすべてのステークホルダーです。その一翼として期待されるのがESDの「E（Education）」を推進する組織

としての大学であり、大学に所属する様々な分野の教員であり、地域の課題解決に向けて地域で実践的な活動を推進していく学生なのです。

この「北九州まなびとESDステーション」では、学生や教員が協力して地域の課題やニーズに対応した実践活動を行いながら、社会の現場で様々な人々と協働することによって、思考力やリーダーシップ等の実践的スキルを体得していきます。つまり、ここはESD活動を通じた学びの場であり、地域と大学、市民と学生とを結びつける「開かれたキャンパス」でもあるのです。4月以降、地域活動や学生・市民を対象とした講座など様々な活動が順次展開されていく予定です。市民の皆様方にはまずは一度このステーションを訪れて、ESD活動の一端に触れていただければと思います。その一步一步が北九州市の未来づくりにつながります。

（都市政策研究所 教授 内田 晃）



写真 北九州市長と10大学の学長によるテープカット
【WEB サイト】 <https://manabito.kitakyu-u.ac.jp/>

B-1 グランプリ in 北九州に対する評価と、推定される経済波及効果

都市政策研究所 准教授 南 博

1. はじめに

2012年10月20、21日、北九州市において“ご当地グルメ”の祭典「B-1 グランプリ in 北九州」が開催された。

北九州市立大学都市政策研究所では、B-1 グランプリ in 北九州実行委員会事務局からの依頼を受け、研究所の地域課題研究の一環として B-1 グランプリ開催当日に来場者アンケートを実施し、今後の北九州におけるまちづくりに活かしていく観点から来場者属性分析や満足度評価を行った。また、アンケートから得られたデータと各種統計データ等をもとに B-1 グランプリ in 北九州開催に伴う北九州市内への経済波及効果推計を行った。その結果は2013年2月26日に実行委員会を通じて公表され、多くのテレビ、新聞等で報じられた。

本稿では、その研究結果の概要について紹介する。なお、詳細については南（2013）にまとめている。

2. B-1 グランプリ in 北九州の開催概要

B-1 グランプリ^(注1)は、地域資源である B 級ご当地グルメを活用し、料理を通じて全国各地の PR や活性化を図ることを理念・目的として年1回開催されている。その第7回大会として開催された「B-1 グランプリ in 北九州」の開催概要を図表1に示す。会場は JR 小倉駅を挟んで2カ所に分散配置され、駅周辺の商業機能集積地を多くの人が通行した。また、2日間で延べ約2千人超の市民・企業・学生等のボランティアが様々な役割を担い、円滑な運営に貢献した。

図表1 B-1 グランプリ in 北九州の開催概要

主催	・B-1 グランプリ in 北九州実行委員会 ・一般社団法人 B 級ご当地グルメでまちおこし団体連絡協議会（通称：愛 B リーグ）
開催日時	2012年10月20日（土）、21日（日） 各 10:00～16:00（開会式・閉会式除く）
会場	小倉北区中心部（小倉駅から徒歩5～15分圏内）の2会場 ・リバーサイド会場（勝山公園） ・シーサイド会場（あさの汐風公園、西日本総合展示場）
出展団体	63 団体（各団体とも1食 300～500 円で B 級ご当地グルメを提供）
入場方法	入場無料：料理購入にはイベントチケット（一冊1,000円。100円券10枚綴）が必要。チケットは大会当日から11月4日まで北九州市全域の登録店や文化・観光施設で利用可能
同時開催	「魅力発信！北九州」フェア （北九州市制50周年関連事業）
開催結果	天候
	来場

10月20日（土）：晴れ、最高気温 22.6℃
21日（日）：晴れ、最高気温 25.9℃

主催者発表 61.0 万人
※日別来場者数：20日 21.8 万人、21日 39.2 万人

3. B-1 グランプリ in 北九州への来場者の評価

B-1 グランプリ in 北九州の開催当日、両会場において来場者アンケートを実施し、合計1,600サンプルの回収を得た（回収率100%）。調査の実施にあたっては、回答者に偏りが出ないようにできるだけ無作為抽出に近い形にする点などに留意した。調査員として福岡ひびき信用金庫の職員の皆様延べ約80人（2日間）にボランティアで御協力いただいた。

本稿では紙面が限られているため、アンケートの主な結果のまとめを以下に示す。

- ① 幅広い世代に開催を支持された。
- ② 多くの北九州市民の来場があり、地元市民へ楽しみを提供する場となった。一方、比率は相対的に低いものの、人数としてはかなり多くの市外からの来場者があり、全国の人々に楽しみを提供した。
※回答者居住地：北九州市 61%、福岡県内（北九州市除く）23%、福岡県外 16%
- ③ B-1 グランプリ会場内だけで経済活動が行われたのではなく、会場外の北九州市内の商業・観光施設等においても経済活動が行われ、また宿泊関連産業や交通関連産業等への経済効果もあったことが期待できる。また、北九州市外（福岡市、下関市など）での観光等を誘発したと考えられ、開催効果は広域に及んだと推測できる。
- ④ B-1 グランプリ in 北九州に対する来場者の総合的な満足度は高く、イベントとして成功したものと評価できる。特に、運営に関わった人々や北九州市民のホスピタリティに係る事項への評価は高かった点は注目すべき事項である。
- ⑤ 今後、北九州市で「ご当地グルメ」イベントが開催された場合の来場意欲は高く、B-1 グランプリ in 北九州は、北九州市のシティプロモーションの推進やイメージアップという観点からも成果があったと考えられる。

以上の点から、B-1 グランプリ in 北九州の開催は成功したと客観的に評価する。また、今後の北九州のまちづくりに大きな財産を残したと考える。

このうち、④に関し、B-1 グランプリ in 北九州に関する11の評価項目について、「とても良い」5点、「良い」4点、「普通」3点、「悪い」2点、「とても悪い」1点とした5段階評価を回答者に求め、項目別平均点を算出した結果を図表2に示す。平均点が最も高いのは「総合的な満足度」の4.14点（5点満点中）である。次いで「各出展団体のスタッフの接

客態度」、「ボランティア、市民の“おもてなし”の姿勢」など、B-1 グランプリ in 北九州に関わった人々や北九州市民のホスピタリティに係る事項である。料理の味や種類についても4点近い得点となっている。一方、相対的に評価が低いのは「会場の混雑具合」「目当ての料理の買いやすさ」などであり、来場者が非常に多かったことが要因となったと考えられる。総合的な満足度、運営に関わる人に対する評価、料理に対する評価がいずれも高い結果である点は、B-1 グランプリ in 北九州が成功したと評価する根拠の一つとなる。

4. 北九州市内への経済波及効果

(1) 推計手法

推計対象は、B-1 グランプリ in 北九州開催に伴う北九州市内での直接的な経済活動（直接効果）と、それを産業連関表に投入して求められる北九州市内での間接効果（二次波及効果まで）とした。

(2) 北九州市内への直接効果額

直接効果を構成する各項目について、来場者アンケート結果が利用可能な項目はアンケートから求めた平均消費額に来場者数（宿泊の有無別）を乗じて算出し、また主催者が提供可能なデータ（集計処理した財務データ、出展団体の来場人数に関するデータ等）は、それを用いて算出した。なお、B-1 グランプリ会場内での飲食・土産購入費については、北九州市内への経済波及効果算出に用いることが妥当と考えられる金額のみに処理した上で計上した。その結果、**B-1 グランプリ in 北九州開催に伴う北九州市内への直接効果額の合計金額は、約 16.6 億円と推計できる**（図表 3）。

(3) 北九州市内への経済波及効果額

直接効果額約 16.6 億円を費目別に産業分類し、「北九州市産業連関表（平成 17 年表、34 部門）」に投入して計算した結果、**B-1 グランプリ in 北九州開催に伴う北九州市内への経済波及効果額の推計結果は、約 26.5 億円となる**。このうち一次波及効果は約 6.5 億円、二次波及効果は約 3.4 億円と推計される。

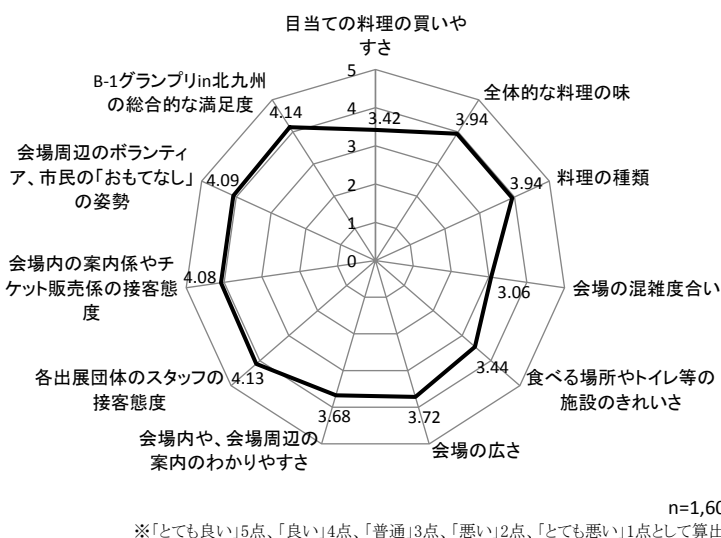
B-1 グランプリ in 北九州の事業規模は約 3 億円（うち約 2 億円分の収入はイベントチケット販売額）であることを勘案すると、B-1 グランプリの開催は地域経済の活性化に大きな成果があったと評価できよう。

なお、本研究では北九州市における経済波及効果に限定して推計しており、北九州市外での経済波及効果も含めると、本研究で推計した市内での効果額約 26.5 億円よりも多額にのぼると考えられる（例：全国、福岡県などの単位で推計した場合）。

5. おわりに

B-1 グランプリ in 北九州について、来場者満足度が

図表 2 B-1 グランプリ in 北九州に対する評価の項目別平均点



図表 3 B-1 グランプリ in 北九州開催に伴う北九州市内への直接効果額等の推計結果

項目	金額(百万円)
来場者による、北九州市内での消費活動	1,478.6
会場内での飲食・土産購入費のうち、北九州市内での経済効果試算対象となる費用	43.5
会場外での飲食費	520.9
会場外での土産購入費	137.9
会場外での観光施設入場料等	85.4
市内支出の交通費	548.9
宿泊費	142.1
主催者・出展団体による、北九州市内での調達活動等	181.6
主催者調達費(印刷、会場設営など)	118.9
出展団体調達費(食材、機材等)	12.9
出展団体滞在費用(宿泊費、飲食費)	49.8
北九州市への直接効果額 計	1,660.2
↓ これを産業連関表に投入して計算した結果	
北九州市への経済波及効果額	2,651

高い点などから開催は成功したものと評価でき、また開催に伴う北九州市内の地域経済活性化にも効果があったと評価できる。一方、集客イベントの地域経済への波及効果の拡大の観点からは、市内での滞在型の観光・飲食などを促進する仕組みを一層強化していく事が課題である点等も明らかとなった。

B-1 グランプリの開催地としての経験を一過性のものとせず、今後の北九州市のまちづくりの様々な場面において活用していくことが求められる。

(注1)「B-1 グランプリ」は、一般社団法人 B 級ご当地グルメでまちおこし団体連絡協議会の登録商標である。

参考文献

南博(2013)「B-1 グランプリ in 北九州への来場者の評価および開催に伴う経済波及効果に関する研究」、北九州市立大学『都市政策研究所紀要』Vol.7、pp. 75-98。

事業日誌 (2013年1月～3月)

■研究会、調査など

- ・【海外調査】工場診断 (ベトナム・ハイフォン、1/12～19)
- ・【海外調査】海外進出環境調査 (中国・上海、3/7～9)
- ・【ワークショップ】みやこ町まちづくり勉強会 (サングレート勝山：1/27、3/3)
- ・【研究会】地域づくり研究会 (3/9)
- ・【普及活動】北九州市立中央図書館におけるギラヴェンツ北九州関連展示 (3月～継続中)
- ・【調査】関門地域共同研究、地域課題研究に関する各種アンケート調査 (郵送式、インターネット調査) などを実施

■講演・シンポジウムなど

- ・【講演】地域づくりネットワーク福岡県協議会北九州ブロック会議 (中間市地域交流センター：1/20)
- ・【シンポジウム】中部E S D拠点シンポジウム (中部大学名古屋キャンパス：3/21)
- ・【講演】田川まるごと博物館開館記念式典 (福岡県立大学：3/24)

■報道 (専任教員のコメント掲載・放送など)

- ・毎日新聞、1/9、夕刊1面「火災ビルに支援の輪 いいね！」
- ・FBS福岡放送、2/11、『NEWS5ちゃん』、「北九州市誕生から50年」
- ・毎日新聞、2/18、オピニオン面「メディア時評 ～地方議会の課題、積極的に提起を」
- ・NHK、2/26、『こんばんは北九州』・『ニュース 845 北九州』「B-1の経済波及効果は」
- ・RKB毎日放送、2/26、『今日感ニュース』 「“B級”での効果は26億5000万円」
- ・毎日新聞、2/27、北九州面「B-1 グランプリ 経済効果は26.5億 北九大都市政策研究所が推計」
- ・朝日新聞、3/15、北九州面「B-1、26億円の効果 昨秋分 北九州市まとめ」
- ・NHK、3/14、『こんばんは北九州』 「B-1 グランプリ接客に高評価」
- ・毎日新聞、3/18、オピニオン面「メディア時評 ～「経済波及効果」金額過大評価は禁物」

都市政策研究所資料室・新着図書

○厚生労働白書 平成24年版 ○世界経済の潮流 2012年II

トピック①

2013年4月付け人事異動等のお知らせ

- 2013年3月末をもって、3年間、都市政策研究所長を務めた古賀哲矢・法学部教授が所長職を退任し、4月から新たに岡本博志・法学部教授が都市政策研究所長に着任しました。なお、古賀・前所長は2013年度も引き続き法学部教授として本学に勤務しております。
- 内田晃 (前 准教授) が教授に昇任しました。
- 石塚優教授が大学院社会システム研究科地域コミュニティ専攻長に、また片岡寛之准教授が地域創生学群地域創生学類長に就任しました。両教員とも引き続き都市政策研究所所属教員として勤務しております。

【2013年度の都市政策研究所教員一覧】

所長：岡本博志 (法学部教授)

教授：石塚優、伊藤解子、内田晃、神山和久、吉村英俊

准教授：片岡寛之、南博

トピック②

「都市政策研究所 研究報告会」開催のお知らせ

北九州市立大学都市政策研究所では、2012年度に実施した地域課題研究等の内容の一部について、市民・関係機関等の皆様に御報告する「研究報告会」を開催します。是非、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

【開催概要】

日時：2013年4月26日 (金) 15:00～17:00

会場：西日本総合展示場新館 (AIMビル) 314,315 会議室
[北九州市小倉北区浅野3-8-1] 小倉駅新幹線口から徒歩5分
報告予定者 (タイトルは仮題、順不同)：

- ・内田晃 「超小型電気自動車の性能評価と生活交通サービスを見据えた課題」
- ・南博 「北九州における“集客”の現状と課題～B-1 グランプリ、ギラヴェンツ北九州」
- ・吉村英俊 「関門地域の大学の起業教育の現状と展望」
- ・伊藤解子 「北九州市民の幸福度に関する調査」

【お申込み、詳細プログラム等のお問い合わせ】

北九州市立大学 都市政策研究所 事務室

Tel: 093-964-4302

E-mail: toshiken@kitakyu-u.ac.jp

【編集・発行】

公立大学法人

北九州市立大学 都市政策研究所

〒802-8577 北九州市小倉南区北方4-2-1

Tel: 093-964-4302 Fax: 093-964-4300

E-mail: toshiken@kitakyu-u.ac.jp

URL: <http://www.kitakyu-u.ac.jp/iurps/>

NEWSLETTER No.64

April 1, 2013

INSTITUTE FOR URBAN
AND REGIONAL POLICY STUDIES,
THE UNIVERSITY OF KITAKYUSHU,
KITAKYUSHU CITY, JAPAN